



# ときめき

鳥根県農業技術センター

No. 384

2012 9-18

## トロ箱栽培で「日射比例灌水法」が有望

日射比例灌水法をトロ箱栽培に適用したところ、肥料の使用量を減せることが分かりました。また、メロン、トマトで裂果が少なくなるなど果実の品質向上と、収益が安定することを確認しました。

トロ箱栽培では、肥料コストの削減が課題となっており、日射比例灌水法の導入を目的に県下各地で実証ほを設置するとともに、収量性や技術導入上の問題点等について、設置農家などからの聞き取りを行いました(表1)。

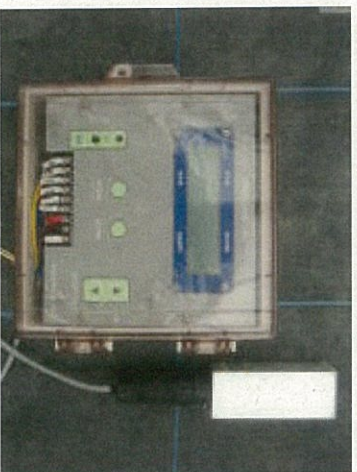
日射比例灌水法は、大半の実証ほで省力面(灌水時間設定の自動化)、コスト面(肥料使用量の減少)、品質面(裂果の減少)の効果が認められ、収益も安定しており、設置農家などから高い評価を得ました。

なお、野菜グループのトロ箱栽培ハウスで、実際の制御状況が見学可能です。

表1 日射比例灌水法における実証ほの成果概要

栽培品目	耕種概要	粗収益 (千円/10a)	成果概要	
A 営農組合	大玉トマト ミニトマト	定植6/16 収穫7/下～	2,400	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大玉トマトでは裂果が減少</li> <li>・収穫量が前年比62%増加</li> <li>・肥料使用量が前年比36%減少</li> </ul>
B 株式会社	メロン	定植4/13 収穫7/中～	2,930	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年多かった裂果が減少</li> <li>・可販果率95%を達成</li> <li>・肥料使用量が前年比25%減少</li> </ul>
C 担い手	大玉トマト	定植7/12 収穫9/上～	2,033	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日射比例とタイマー灌水を併用</li> <li>・裂果は少なかつた</li> <li>・高い粗収益が得られた</li> </ul>

※日射比例灌水法：一定の日射量が積算される毎に、自動で灌水と施肥を行う栽培管理法。日射量と蒸発散量が高い相関関係にあるため、天候の変化に応じて灌水量が制御できる。



(写真1 日射コントローラ・センサー)



(写真2 B実証ほのメロン)

問い合わせ先: 栽培研究部 野菜グループ(担当: 奥野かおり、石津文人)

TEL 0853-22-6991

E-mail: nougi@pref.shimane.lg.jp